



八軒つうしん



巻頭言

ご協力に感謝

会長 菅井 茂



穏やかに
明けた平成
三十年元日
に同窓生が
素晴らしい

活躍を見せてくれました。即ち「全日本実業団駅伝大会」で、同窓生村山謙太君が旭化成の選手として五区を走り、二年連続の区間賞を取り、二連覇に貢献しました。ホンダの選手の追い上げをかわして走る彼の姿は素晴らしいもので、在校生にとつて頼もしい先輩と映ったのではないかと思います。今回出場しなかった弟紘太君(リオオリンピック出場)ともども切磋琢磨して日本長距離界の牽引となるよう願っています。

さて、三力年かけて準備してきました「八軒中学校新制七十周年(創立八十二周年)記念事業」は、滞りなく終え

ることができました。ご協力ありがとうございました。記念事業の柱である記念式典は、昨年十一月二十三日(勤労感謝の日)に八軒中学校体育館を会場に、在校生・保護者並びに同窓生・地域の方々等のご出席の下、厳粛な中で行われました。またその後の第二部記念演奏には合唱部の生徒達に東京から駆け付けた卒業生も加わり、素晴らしい合唱を披露してくれました。更に桂友楽師匠(十一回生・大友健弘氏)の記念口演も楽しいもので、参列した生徒達も七十年という歴史の重みを感じてくれたのではないかと思います。

会場を移しての祝賀会には歴代校長先生方はじめ多くのご来賓の方々や地域の方々、保護者の皆さん、現職と旧職員の先生方並びに同窓生の方々等約一八〇名の方にご出席いただき、盛大に開催することができました。アトラクションは四十六回生・渡邊拓也氏のマジックショーで、彼

のマジックに皆さん度肝を抜かれたようで驚きの連続でした。

なお、当日発行しました「記念誌」については、永田淳子編集部長ら委員の方々のご尽力により素晴らしいものが出来上がりました。手に取ってご覧になられた方々からは「素晴らしい」「懐かしい」「よくぞこまで資料等を集められた。ありがとう」との声が、また教育関係者からは「市内の中学校でこのような素晴らしい記念誌を発行できた中学校はどこもない」等多くの称賛の声が寄せられており、この「記念誌」は同窓会の宝になったと思います。まだご覧になっていらっしゃらない方は是非お求めください。この冊子には昭和三十年代の学校近辺の略地図も付いております。それをご覧になってご自分の中学時代に思いを馳せてください。楽しいひと時を過ごせると確信しています。

それぞれの事業にご参加・ご協力・ご支援等いただいた

同窓生の方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。また今回の記念事業については、学校当局はもちろんのこと「記念事業実行委員会」の委員をはじめとする実に多くの方々のお力添えがあつてはじめて実施・発行できたものをつくづく感じています。ありがとうございます。衷心より感謝申し上げます。今回を機に八軒中学校及び同窓会が更に発展することを、また八軒中学校を学び舎とする中学生が母校に誇りをもって進むことを祈念しております。



記念式典で実行委員長として挨拶する菅井会長

新制七十周年(創立八十二年)記念事業

歴史の重みを感じて

〜記念式典〜

仙台市立八軒中学校新制七十周年(創立八十二年)記念式典は、平成二十九年十一月二十三日(木・勤労感謝の日)午前十時から八軒中学校体育館において開催され、在校生、先生方のほか、保護者、地域の方々、教職員OB、同窓生等約一二〇名が出席しました。

記念式典の受付や案内では、同窓会、学校、PTAはもちろん、生徒達も活躍しました。

鈴木丈治先生の進行により、石川一博校長先生の式辞に続いて、菅井茂会長が記念事業実行委員長として挨拶、郡和子仙台市長の祝辞を佐藤淳一仙台市教育局学校教育部参事が代読しました。三年三組の森凜太郎さんが生徒代表のことばを述べた後、校歌を斉唱して第一部は滞りなく終了しました。

休憩をはさんで第二部が行わ

れ、まずOB・OGも参加した合唱部による記念演奏に参加者一同が聴き入りました。続く記念「講演」ならぬ「口演」は、桂友楽師匠、実は第十一回生の大友健弘さんが講師です。大友さんは、東北大学在学中は落語研究会に所属、八代目・桂文楽に弟子入りし「友楽」の名前をもらいました。

生徒達には、おはやしやめくりなど寄席の雰囲気と落語のさわりを体験する貴重な機会となりました。



記念口演中の桂友楽師匠(大友健弘さん)

記念式典終了後は、鈴木丈治先生の案内で希望する約十名の同窓生が校舎内を見学しました。

マジックショーに感嘆 〜祝賀会〜

記念式典、校舎見学会終了後は、会場をパレスへいあん三階・グレースに移し、十六時から祝賀会が行われました。約一八〇名が出席しました。

司会は、南材地区民生委員児童委員として活躍されている立花裕美さん(第三十六回生)にお願いし、高橋裕子PTA会長の開会挨拶、菅井記念事業実行委員長、石川校長先生の挨拶の後、来賓を代表して第十八代校長の福原潔先生からご祝辞をいただきました。

第十八代PTA会長の早坂一夫さん(第五回生)の乾杯の音頭で祝宴が始まりました。会場の前方と後方に設けられたスクリーンには、デミツ写真館代表の近江肇さん(第三十五回生)の協力により作成された、八軒中学校の思い出のスライドが映し出されました。

宴が盛り上がる中、メインアトラクションであるTAKUYA Aさん(第四十六回生・渡邊拓

也さん)のマジックショーが始まりました。



右がTAKUYAさん。助手を務める奥様(左)は…宙に浮いています。

出席者は、次々に繰り出される妙技に目を見張りました。鈴木丈治先生と第二十八代PTA会長の熊谷行雄さん(第二十三回生)は、TAKUYA Aさんに請われて、マジックのお手伝い。盛り上げに一役買いました。

宴が終盤に近付いた頃、今野喜郎監査部長から記念事業財政について報告があり、各テーブルから合計約十二万円の御芳志をいただきました。

そして祝賀会の締めくくりは、やはり校歌斉唱。その後は大友健弘さん、続いて石川校長先生リードによるエール。最後に、

飯沼恒一記念事業実行委員会副委員長の閉会の挨拶と「伊達の一本締め」で、祝賀会はお開きとなりました。

地域とともに

記念誌発刊

記念事業の大きな柱である仙台市立八軒中学校新制七十周年(創立八十二周年)記念誌「八軒」は、記念式典・祝賀会と同日付けで発刊されました。

付録として「昭和三十〜四十年代の記憶の中の八軒中学校区の街並み(南材木町小学校区を中心に)」「(地図)」が添付されています。

「八軒」は、在校生、先生方、協賛金等協力者には一冊贈呈しました。購入ご希望の方は、一冊送料込み二千円を次の郵便振替口座に振込手数料加入者負担の赤の用紙でお振込みください。

口座記号番号

02230-

5-141027

加入者名

八軒中学校70周年

記念事業実行委員会

まとまった部数が必要な場合は、左記までご連絡ください。

副会長 佐藤 徳子

022-223-3435

事務局長 安達 和則

022-248-5986

同期が集えば(一)

第十一回生(昭和三十三年卒)

四年に一度は五輪の祭典、三年に一度は第十一回卒業集いのサイテン、二十一年前に産声を上げた同期会、今回で七回目を迎えました。

昭和三十三年、八軒中を巣立った四八二名の仲間達。あれから六十年、回を重ねるごとに参加者が少なくなるのは寂しい限りです。前回まで恩師をお招きして旧交を温めてきましたが、今回はご高齢のお身体を考慮、ご案内を遠慮しました。

ここ三回ほど秋保温泉で開いていましたが、今回は伊達政宗生誕四五〇年ということ、伊達文化が息づく松島へ。北は札幌、南は奈良と恋人にでも会いたい一心で遠路駆けつけてくれ

ました。九月二十四日午後、ホテル大観荘に三々五々集まり、四十九名の仲間が元気な笑顔をを見せてくれました。「ゴブサタ!」「元気シテタ!」「七十五歳という年齢など忘れられ、一挙に十五歳にタイムスリップ。

午後五時三十分、佐藤東士男君の司会で開会、庄子春吉幹事長の挨拶、物故者への黙祷、各クラス幹事からクラス参加者の紹介。宴会は、佐々木考一迷司会で酣に。同期会では恒例になっているハーモニカ演奏は小谷裕子さん、丹野ナミヒさん。東京より楽器持参で駆けつけてくれた赤間和彦君、百井育子さんのウクレレ演奏。小晰の大友健弘君(桂友楽)の熱演。二次会のカラオケ大会は声自慢の美男美女が出演、二時間歌いに唄い捲りました。さすが南材小卒業の皆さんでした。

次回開催について参加者に聞いかけ、発展的解散にするか、今後も三年に一回か。八十歳まで継続してはどうか。日帰りか、宿泊か。意見が分かれるも、結局『三年待てない。二年後の喜

寿の年に一泊ではどうか』と緊急動議が出され、多数の賛同で決まりました。二年後、節目の喜寿同期会の幹事長には佐藤東士男君が選任されました。後期高齢者の身、くれぐれも身体に気を付け、喜寿同期会には元気な笑顔で五十名以上の仲間を祝杯を挙げよう、その為には一人でも多くの仲間に参加を奨めることが鍵になると、次回の再会を約束してお開きとなりました。

(庄子 春吉)



今回は2年後、喜寿のお祝いを50名以上で元気に!

同期が集えば(一)

第十三回生(昭和二十五年卒)

八軒中七十周年記念事業は関係部門の多いなる努力により成功裡に終了しました。十三回生も皆様と協力しながら率先垂範し、意欲的に活動しました。

記念祝賀会にも十七名が参加し、先輩・後輩と語り合い多いに盛り上がり楽しいひと時を過ごすことができました。祝賀会

だけで帰る同期生はいるはずもなく定例の二次会、祝賀会に参加できなかった下戸の女性、後片付けを終えた会長・副会長、そして後輩も加わり、時間を忘れて大いに飲み、語りました。

次回の同期会は喜寿が目安ですが、元気なうち、飲めるうちに開催される公算が強いです!

(庄司 茂雄)

第十四回生(昭和三十六年卒)

「酉・戌年生まれの

年男・年女を祝う会」

・日時

平成二十九年十一月二十三日

午後六時

・場所 retro Bank Page

・参加者

女性十二名、男性二十名

計三十二名

横澤行夫会長から「元気であるから本日出席できる、これからも人生を楽しく生きたい」との挨拶があり、武田治夫君の「八十、九十歳までこの会を重ねることを祈念して」との乾杯の音頭で七十二歳の同期会が始まりました。



72歳の年男、年女の同期会

懇談では、ケアマネージャー等元気で働いている方、ボラン

ティア活動(つるがや元気会会長)で活躍している方、ご主人の介護で二十四年も頑張っている方、キッチンぱばで料理教室に通っている方、孫の世話で出席できない方、最後の青春?を謳歌している方など、同期生の面々の近況が話題となり、盛り上がりました。

年齢を重ねると思うようにできない面も多々ありますが、今回出席できなかった方々が次回是非参加できるように願うばかりです。

(本郷 誠)

第十五回生(昭和三十七年卒)

私の八軒中時代は、ソフトボールに明け暮れていました。きびしい中にも思いやりあふれた小川先生のもと元気で気の合うチームメイトと日本人とは思えないほど日焼けして、青春そのものでした。

主人の転勤に伴い、しばらく仙台を離れておりました。こちらに戻ってすぐに八軒中時代のソフトボールの仲間とは連絡を取り合い、ランチやおしゃべりを楽しんでいました。程なくし

平成二十五年六月二十九日に同期会があると声をかけていただき、面影が残る懐かしい方々と五十年ぶりにお会いし中学時代を思い出しながら楽しい語らいのひとときを過ごしました。

同期の方々とは、その後も何度もお目にかかる機会があり、最近では平成二十九年十一月二十三日の八軒中新制七十周年記念祝賀会に私達同期から九名が参加しました。新旧の先生方、同窓会の役員の方々のスピーチを拝聴しながら、私達同期のテーブルでは次々と運ばれてくるお料理もドリンクもしつかりいただき話はずみしました。閉会後は場所を変え、皆さんの美声で盛り上がりました。

現在はミニ同期会や家族同伴も有り、巾を広げて楽しんでおります。最近の話題は、物忘れ、体調、メタボ、菓のうんちくなどでアドバイスあり笑いあります。ひとえに幹事の方々のささげがあつてのことと感謝いたします。そしてミニ会を開いてくださっている三島さん、会の後、私達を温かく迎えてくださって

いる舟田さん、和賀さん、有り難うございます。

十五回生の大部分が今年もは年男、年女です。次の戌年までワンドフルに、そしてフアイト!!

(宍戸 のり子)



パレスへいあんにて(9名+右端には飯沼さんの奥様が特別出演)

第十七回生(昭和三十九年卒)

第十回四ツ葉三九会総会は、平成二十九年十月七日午後五時から、パレスへいあんを会場に開催されました。参加者は二十四名で、恩師は笠原先生にご参加をいただきました。

恩師と同級生の物故者に対し黙祷を捧げてから、会は始まりました。笠原先生からご挨拶をいただきましたが、高齢を感じさせない気丈夫なお姿には感心いたしました。

小野寺幹夫会長からは、恩師からの葉書の紹介があり、伊藤文雄事務局長からは、事業報告と「三九会」の今後の在り方についての説明がありました。十年続いたこの会も、来年の古希を迎えて現体制を終了させたいとの話でした。会員からは、この一年をかけて検討した方がいいという意見が多くありました。

懇親会では、ビンゴゲームで盛り上がり、中学生に戻っての話は尽きませんでした。

たいこ茶屋の嵯峨大将も駆けつけ、総会当日も被災地でのマスコットを披露してきてくれたところだと頑張っていました。

八軒中七十周年記念事業に対しても、三九会から広告掲載や協賛金寄付など多大なるご協力をもらったということで、記念事業実行委員から感謝の言葉がありました。

来年の古希を迎えての総会は多くの同期生に参加してもらえらうに、今から幹事会で準備を進めています。

幹事会は、長町の「おおわ田そばや」でやっています。同期生がやっている店なので、気ままに使わせてもらっています。そばが美味しいので、一回食べに来てみてください。



「おおわ田」

(安達 和則)

第十八回生(昭和四十年卒)

◎二〇一七年五月六日

仙台ガーデンパレスで第六回同期会開催。小川先生はじめ四名の恩師にご臨席戴き、総勢七十九名の盛会でした。

同窓会への寄付も五万円を越え、「私の八軒時代」、在校生演奏のCDも販売しました。

◎四月二日

第二十九回南材・八軒ゴルフコンペを仙台南ゴルフ倶楽部で

開催。恩師影山先生はじめ十七名参加。

◎七月二十三日

第三十回南材・八軒ゴルフコンペを太白カントリークラブで開催。影山先生はじめ十二名参加。

◎七月二十八日

南材・八軒納涼会を伊達の牛タンで開催しました。恩師影山先生ご臨席、総勢二十八名が参加しました。

◎十月二十日

太白区カントリークラブで開催予定の第三十一回南材・八軒ゴルフコンペは、大雨により中止となりました。参加者十二名は一旦集合しましたが、参加賞を受け取り、会費を支払い解散。有志八名のみ廻りました。幸い雨は小降りになりました。

◎十一月二十五日

南材・八軒忘年会を伊達の牛タンで開催しました。恩師影山先生ご臨席、総勢二十五名が参加しましたが、永年仕事で仙台を離れ、定年後戻った同期生も現れ、「継続」の意義を新たにしました。

(直野 まり)

同期が集えば(二)

第二十三回生(昭和四十五年卒)

「大いに盛り上がった同級会」

今年には八軒中学校新制七十周年の記念式典が有るようなので、ついでに同級会を開こうという話が七月初めに飲み友達の間から出ました。それではどのようなにしてみんなを集めようかと思案し、まずは八クラスあったので各クラスから男女それぞれ一人ずつ幹事を選び、そのクラス幹事から声掛けしてもらおう事に決めました。

八月二十六日に一回目のクラス幹事会を開催し、これまでの経緯説明と今後の予定を話し合いました。十一月二十三日の記念式典・祝賀会への参加協力依頼、同級会の代表を吉川君にお願いし、同窓会とは別に十二月二日に開くことも決まりました。会場は「苺クリスロード店」に予約を入れました。

お金がかからないように同級生への案内はメールや電話にして、目標の四十名迄はいきませんでしたが、三十五名の参加申

し込みがありました。事前に参加者名簿と名札を作成し、後日正確な名簿作成の為に必要なので、当日に名札の裏側に住所と電話番号を書いてもらう事になりました。

そして開催当日、幹事の私は少し早めに行き、店の担当者として店のレイアウトを打ち合わせました。過去の反省から、今回はとにかくみんなが移動しやすい配置を考え、最初から最後まで同じ場所だったなどということがないようにしました。そうしているうちに開始時間になり、



みんな楽しくてしょうがない



代表の挨拶が始まりました。

貴重な時間にみんなが集まったのだからとにかく楽しくやりましょう！から乾杯になり、参加者全体が和気あいあいの雰囲気です。二時間がすく短く感じました。みんなが楽しくてしょうがないという会も珍しいです。普通はしらけている人がいるものですね。あまりに盛り上がったので、これでお開きにするのはもったいないと店に交渉(なるべく安く)して一時間延長にしました。最後は手締めでお開きにしました。

「また来年会いたいね」とみんなからリクエストがあったのでまた企画したいと思います。本音を言えば「私以外の人が企画して」と思いますが、それは無いようなので、またやらせて頂きます。(徳田 実)

第二十六回生(昭和四十八年卒)

「懐かしく、楽しく」

昭和四十八年三月卒の卒業生は、めでたく還暦を迎えました。大寒の平成三十年一月二十日、午後六時より河原町・末広寿司

(同期生の高橋理一郎くんの店)にて、宮城学院卒業生も一緒に二十二名の参加にて同期会を行いました。

祝宴の前に、皆の還暦にあたり「今後の健康と活躍を祈願」を河原町・秋葉神社にて荒井宮司様よりご祈祷頂き、旅立神社のお札を頂戴し、心新たに家族・友の幸福を祈願いたしました。



秋葉神社でご祈祷を受けました

亡き恩師や同期生に黙祷をささげ、祝宴では、松本生徒会長との挨拶に始まり、皆より近況報告やなつかしい話を聞き、六十年の歴史に感慨深きものがありました。悪ガキ達は、先生に立

たされたり、愛のムチを受けた
りしたことを今でも言い訳し、
反省はしていないようで、困っ
たものです。

同期生のさくらい循環器・内
科クリニック院長・桜井信先生
による「ミニ健康講座」も開催
され、厳しいご指導がありまし
た。それにも拘わらず、おしい
お寿司・お鍋にお酒も進み、
コレステロール値は上がりっぱ
なし。:

最後に、母校の発展と今後の
みんなの活躍を祈念し、三本締
めにて三時間の同期会は閉会、
引き続き二次会で同期生の聖子
ちゃんの店「ポポ」へ移動、更
に盛り上がり、何時の終了か誰
も覚えておりません。

次回の再会を約束して、早速
同期会の企画が始まりました。

(庄子 廣志)

第三十二回生(昭和五十四年卒)

今年は冬季オリンピックが開
催され、大いに盛り上がりまし
た。

私たちの代の同窓会は、夏の
オリンピックが開催される年に

実施してきています。

今後の八軒中学校の卒業生の
活躍を期待しつつ、東京オリ
ンピック同窓会を楽しみに待ち
たいと思います。(本郷 栄治)

第三十六回生(昭和五十七年卒)

「八軒中での思い出が
たまらなく好き」

「やっと約束が果たせたね」。
最初の同期会から協力し合っ
ている実行委員は、三回目の同
期会開催に胸をなでおろした。二
回目の開催から九年。東日本大
震災を経て何となく同期会とい
う雰囲気ではなかったが、五十
歳にして天命を知ったのだろう
か、同期生と交わした「次回も
楽しみにしてるからね」の期待
にやっと応えることができたの
だ。

それをあと押ししてくれたの
は、八軒中新制七十周年事業に
尽力する先輩方の存在だった。

私は記念誌への協力(協賛広告
集め)を仰せつかった。同期生
に呼びかける一方、「俺たちも
在校生の躍進を期してメッセー
ジを出そう」ということになっ

た。何ごともきっかけ次第(笑)、
それからトントン拍子にことが
運び、記念式典と同じ十一月二
十三日に同期会を開催した。

同期生が営むステキハウス
「ヌーベル・クアトロ」(青葉
区本町)を会場に約五十人の同
期生が集った。五人の恩師にも
ご出席いただいた。一組担任の
高橋仁先生、二組の永澤典子先



同期生の期待に応じて9年ぶりに3回目の同期会を開催

生、四組の佐々木郁子先生、七
組の佐藤文次先生、そして部活
動の顧問などでお世話になった
布施俊雄先生。先生方からのス
ピーチはとても温かく、涙を拭
う同期生も少なくなかった。互
いに近況を報告し合い、実行委
員が企画したビンゴゲームなど
で大いに盛りあがった。

その後、先生方を無理やり連
れて二次会のカラオケボックス
へ。歌わずにずっと語り合い、
懐かしんだ。最後はみんなで肩
を組んでの校歌斉唱だった。

最近、「懐かしさ、何によっ
て引き起こされるのか」という
論文を読んだ。「懐かしさ」と
は、記憶している(愛着ある)
「要素」に対し、一定の時間軸
を経たのち、再度その「要素」
に関連する「刺激(五感)」を
受けた場合発生する感情だそう
だ。

私は「懐かしさ」という感情
が大好きだ。そして我が同期生
も八軒中での思い出がたまらな
く好きなのだと思う。

(小関 勝也)

いぬこやう

絆の強さを感じて

仙台市立八軒中学校

教頭 紋谷 洋三



同窓会の
会員の皆様
におかれま
しては、日頃
より本校の
教育活動に

御理解と御協力を賜り誠にあり
がとうございます。また、新制
七十周年(創立八十二周年)記
念式典運営、祝賀会運営、記念
誌の発刊において同窓会の皆様
の多大なる御協力の元、大成功
に終わりましたこと心より感謝
申し上げます。

記念誌でも書きましたが、私
は昭和三十五年生まれで第二十
九回卒業生の方々と同じ年齢で
す。私は、群馬県桐生市生まれ
で、桐生市立西中学校卒業です。
開校は昭和二十二年なので、八
軒中学校と同じ年でした。しか
し、少子化の影響で学校が統廃
合されてしまい九年前に廃校と

なってしまうました。今では、
市民センターとして再利用され
ていますが母校がなくなると言
うことは、大変にさびしく、心
のよりどころがなくなってしまう
った気持ちです。しかし、学年
同窓会は、オリンピックイヤー
(冬季・夏季)に実施する約束
を決めて成人祝い同窓会から続
いています。

そんなこんなで、このたびの
異動で八軒中学校に赴任して新
制七十周年記念式典に関われた
ことを大変うれしく思っていま
す。八軒中学校の卒業生の中に
は、映画女優の若尾文子さんや
リオオリンピック陸上一万メー
トル日本代表の村山紘太選手な
ど多くの卒業生を輩出している
ことにも歴史と伝統を感じてい
ます。

私の知っている身近な卒業生
では、私が中学校を卒業して、
神奈川県横須賀市にある、陸上
自衛隊少年工科学校に志願した
際、同級生の中に八軒中学校の
卒業生が三名いました。その中
の村上茂君は、四年生の時に千
葉市にある高射学校のSAM

(地对空ミサイル)電気修理課
程で一年間勉強と寮生活を共に
過ごしました。今は、自衛官を
退職し、長崎県の大村市に住ん
でいるとのこと、年賀状で七十
周年記念式典が無事に終了した
事を伝えました。

各学年の毎年開催の同窓会や
同窓会ゴルフコンペ等の特色あ
る内容八軒中学校の同窓会幹事
会の縦糸の繋がりと各学年同窓
会の皆さんの横糸の繋がりに絆
の強さを感じています。これか
ら、八軒中学校を支えていた
だきますようよろしくお願いいたします。

地域とのつながり

仙台市立八軒中学校

教諭 齋藤 光

(同窓会事務局担当)



今年度八軒
中学校に赴任
いたしました。
三年間勤務し
た初任地の学
校から初めての異動で赴任した
この八軒中学校では、新制七十

周年(創立八十二周年)の式典
が行われると聞き、歴史ある学
校に赴任したのだと感じました。
記念誌「八軒」を拝見すると
今までの八軒中学校の歴史の深
さはもちろん、父母教師会や同
窓会のこれまでのあゆみや地域
との強い繋がりがあのだとい
うことが伝わってきました。更
に、八軒中学校の卒業生の皆様
が幅広い分野でご活躍なさって
いることを知ることができまし
た。

十一月二十三日の記念式典と
祝賀会に参加させていただきました、
数多くの同窓生の皆様が出席
しており、八軒中同窓生の方々
が強い繋がりをもっているのだ
なと感じました。また、祝賀会
ではスライドショーの作成をお
手伝いさせて頂きました。写真
の一枚一枚から八軒中学校の伝
統や、これまで積み重ねて来た
歴史の重さが伝わってきました。
この様な記念すべき年に、八
軒中学校の教職員として記念行
事に携わることができたことを
大変嬉しく思います。八軒中学
校の記念行事を終えてから、私

は自分自身の母校の歴史について興味が湧きました。私の母校は石巻にある湊中学校というところですが、なんと八軒中学校と同じく昭和二十二年に創立されました。私の母校の湊中学校は、二〇一一年三月十一日の東日本大震災で津波が校舎を襲い、一階部分が浸水しました。その後、二〇一四年の四月から震災前と同じ場所で湊中学校は再開しました。八軒中学校は震災直後「あすという日が」という歌を避難所になっていく武道館で歌い、たくさんの人達を勇気づけたと聞きました。自分達も被災しているにも関わらず周りの方々の勇気づけられる強さというのは八軒中学校区の地域の方々の強い繋がりに来ているのだと思います。

これからも同窓会の皆様にも色々と教えていただくことや、支援していただくことも多くあると思います。これからもよろしくお願いいたします。

在校生の活躍ぶり(一)

《運動部》

第六十六回

仙台市中学校総合体育大会

① 陸上

男子共通砲丸投げ

一位

百Mハードル

三位

女子共通百Mハードル

三位

二百M

三位

四百Mリレー

六位



② サッカー(若林区)

ソフトテニス(若林区)

③ 女子団体

④ 水泳

百Mバタフライ

八位

第六十六回

宮城県中学校総合体育大会

① 陸上

男子共通砲丸投げ

一位

百Mハードル

四位

女子共通百Mハードル

四位

二百M

七位

※ 新人大会でバドミントン女子シングルス、ソフトテニス

男子個人で県大会出場

《文化部》

吹奏楽

・第三十二回宮城県管打楽器ソロコンテスト

・全日本吹奏楽コンクール

・第六十回宮城県大会予選

・仙台太白・宮城野・若林地区大会

・第六十回宮城県大会

・第六十回東北大会

・全日本

・アンサンブルコンテスト

・第五十一回宮城県大会予選

・仙台若林地区大会

・管楽七重奏

・管打楽器六重奏

・管打楽器六重奏

・管打楽器六重奏

合唱

・第八十四回NHK全国音楽コンクール

・宮城県コンクール

・東北ブロックコンクール

・第六十九回全日本合唱コンクール

・宮城県大会

・東北支部大会

・平成二十九年TBCこども音楽コンクール

・宮城地区大会

・合唱の部

《その他》

・平成二十九年少年の主張

・若林区大会

・宮城県大会

・仙台市中学校弁論大会

・Dブロック大会

・第五十六回宮城県造形教育作品展

・第六十九回仙台市小中高等学校児童生徒作曲コンクール

・入選

・入選

・入選

在校生の活躍ぶり(二)

《その他II》

- ・第八十五回全国書画展覧会
特選、金賞、銀賞
- ・第六十三号 文集「こだま」
入選
- ・平成二十九年度仙台市中学校
読書感想文コンクール
奨励賞

《主な学校行事》

- ・入学式 四月十一日
- ・陸上カーニバル 五月十二日
- ・二年生
野外活動 松島・気仙沼
五月十八日～二十日
- ・三年生 修学旅行 東京
五月二十四日～二十六日



2年生：わかめの芯抜き体験



3年生：キッザニア東京



校内合唱祭での全員合唱
「あすという日が」

- ・校内合唱祭 七月六日
- ・PTA全国大会仙台
八月二十五～二十六日
- ・文化発表会 九月二日
- ・八軒中学校校区総合防災訓練
十月二十一日
- ・わかば学級校外学習
十月二十六日
- ・二年生・わかば学級
職場体験活動
十一月七～八日
- ・同窓会入会式 三月九日
- ・卒業式 三月十日

※写真は八軒中ホームページから転用しました。

新しい仲間

平成二十八年度(第七十回)八軒中同窓会入会式は、平成二十九年三月九日に行われ、男子六十七名、女子六十二名の計百二十九名を、新たに同窓会に迎えました。

当日は、先輩として第三十七回生で石巻専修大学教授の太田尚氏さんから「はなむけの言葉」が贈られました。

お話の内容は、仙台市立八軒中学校新制七十周年(創立八十二年)記念誌「八軒」の中の「私の八軒時代第三集」に掲載されています。

お願いとお知らせ

代表幹事、クラス幹事

現在、代表幹事会等のお知らせは、執行部が把握している各期の代表幹事等へ送付しておりますが、連絡が取れなくなっている期もあります。代表幹事、クラス幹事の方々には、転居等の場合、忘れずに執行部へお知らせください。

同期会、クラス会

開催情報を随時募集しています。執行部までお寄せください。

校歌CDと応援旗

同期会・クラス会開催に際して「校歌」のCDの貸出を希望する場合は、安達事務局長までご連絡ください。

また、「応援旗」の貸出を希望する場合は、八軒中学校の紋谷教頭先生までお申し出ください。

※掲載に当たり執筆者の敬称は略させていただきます。

八軒つうしん第十三号
発行日
平成三十(二〇一八)年
三月三日発行

発行者 八軒中同窓会事務局
〒九八四-〇八二七
仙台市若林区南小泉
字八軒小路九一-一
仙台市立八軒中学校気付